

磐越東線活性化ワーキンググループ
日常チームの提案

磐越東線を日常に。

BANETSU EAST LINE will always be by your side.



日常グループ

松本 ちひろ	郡山市 政策開発課
大内 幸博	三春町 住民課
佐藤 拓也	田村市 生活安全課
宗像 和浩	小野町 企画政策課
大平 哲也	いわき市 都市計画課
安齋 ひかり	福島県 生活交通課
伊東 恭平	福島県 いわき地方振興局
須藤 千恵美	福島県 県中地方振興局



企画 JR東日本郡山総合車両センター
「こおりやまトレっ子」KIHA110
磐越東線、只見線、石巻線、気仙沼線など

磐越東線 日常利用の課題

高校生の通学利用がメイン
急速な少子高齢化



学生数が減少
通学定期利用のため収益が少ない
朝夕の通学時間以外は乗車率が低い

自家用車保有台数の増加
高速道路やICの整備進展
観光施設や企業が駅から遠い



買い物、通院、通勤、観光は車利用が便利
2次交通(高速バス以外)の利用も減

終電が早い
通学時間帯の乗り継ぎが悪い



部活動帰りや飲み会帰りの利用が不便

らく・たのしい
「不便」から「楽」への意識転換
マイレール意識・愛着の醸成

日常利用に向けた提案

小学生の校外学
習・利用
(助成)

運転免許自主返納
支援事業との連携
(助成)

部活動や地域ス
ポーツ活動の遠征
利用 (助成)

高齢者等への交
通支援事業との
連携 (補助)

エコ企業
認定・表彰

パークアンドラ
イドの促進

プレミアム回
数券の販売

買い物支援への
利用 (助成)

沿線企業の
出張利用・Suica配付

幼稚園・保育園
の遠足利用
(助成)

エコ通勤キャ
ンペーン

踏切 (遮断機) 整備
遅延防止策の実施

ノーマイカー
啓発月間

駐輪場の整備

終電時刻の
ダイヤ改正

今、利用していない層を取り込む。
幼児、小学生、中学生、車通勤者、高齢者 (免許返納前も含む)

ICカード (自動
改札) 導入

駅舎や構内に勉
強・仕事スペース
設置

混雑時と閑散時
の本数・車両数
調整

今、利用している層の継続利用を促す。
高校生、技能実習生、通院・買い物利用客など

駐車場の整備

サイクルトレイ
ンの導入

常磐ものや野菜の運
搬 (貨客混載)

医療機関との
連携

駅前マルシェ
の開催

子どもの
乗車体験ツアー

免許返納者への電車
乗り方・2次交通乗
り換え講習会

沿線ファンクラブ、
PR隊の結成

車内・構内美術館等
発表の場

2次交通乗り継ぎ
案内マップ・看板
作成

高齢者や大人の乗
車体験ツアー

小学校等での
出前講座・勉強会

大学生などを活
用した沿線PR

Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

磐越東線の利用方法や沿線のこと、もっと知って、乗ってみよう。

Category 2 磐東線利用促進キャンペーン

マイカー通勤の人も、飲み会の時も、たまには磐東線に乗ってみよう。

Category 3 磐東線が運びます、貨客混載

いわきの海産物も海から直行、新鮮な農水産物を沿線に届けたい。

Category 4 移動ニーズ調査・医療連携

利用者のニーズを把握して、地域医療を支える路線へ。

Category 5 2次交通・P&R・人材育成

磐東線を支える2次交通やパークアンドライド、アテンダント・ボランティアを育てよう。

Category 1

知ろう、乗ろう、磐東線

磐越東線の利用方法や沿線のこと、もっと知って、乗ってみよう。

高齢者・一般向け

+

2次交通利用
補助・助成

子ども向け

+

2次交通利用
補助・助成

小学生向け



Category 1

知ろう、乗ろう、磐東線

磐越東線の利用方法や沿線のこと、もっと知って、乗ってみよう。

高齢者・一般向け

+

2次交通利用
補助・助成



Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

高齢者向け
(ツアー)

事業名	●いま、ふたたびの磐越東線へ(大人の遠足)
対象・ターゲット	●高齢者(65歳以上)とその家族、介護付添人等 ●福祉施設入居者(職員も含む) ●運転免許証自主返納者 ●町内会、老人クラブ、地域活動団体等
目的	●乗車経験のない、又はほぼ乗車したことのない高齢者や免許自主返納者、福祉施設等入居者などを対象に、乗車の機会を創出することで、不便で利用しにくいというイメージから、気軽に使えて、ガソリンより安く、車の運転より楽というイメージに変える。 ●楽しみながら外出や人との交流を促し、心身の健康や認知症予防につなげる ●2次交通の利用促進にもつなげる
内容	●大人の遠足、買い物、博物館や美術館見学、沿線地域学習(各駅の歴史や文化) ●乗車中に見える絶景ポイントや見所、沿線市町の歴史などを解説 ●切符の買い方、改札の入り方をサポート ●希望者には、Suicaの買い方、入金方法もサポート ●旅程で使える商品券、2次交通利用時のサービス券などを配付 ●2次交通乗り換え案内、沿線見所マップ、補助・助成の案内チラシなどを配付

Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

高齢者向け
(ツアー)

期間	短期
開催方法	●各自治体又は複数市町で企画、募集(初年度は、実証実験) ○全県民(一般募集)
実施主体	●各自治体 ●協議会 ○JR東日本(一般募集の場合)
調整・交渉先	●JR東日本 ●鉄道マニア、ご当地アイドル、フラガールなどゲスト(マネジメント会社) ●郷土解説の専門家、案内人、補助員、必要に応じて保健師等 ●社会福祉協議会、福祉施設、老人クラブ等 ●各訪問先施設(商業施設、美術館等)
メリット	●各自治体で企画、実施可能 (集合・乗車場所、訪問施設も実情に合わせて選定でき、顔見知りや地元の仲間に参加しやすい)
デメリット・課題	●単発利用にならないよう、継続的な利用を促す必要がある ●安全面、健康面の確保 ●雨天時の対応



Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

高齢者向け
子ども向け

ルート例	集合場所 ↓ 最寄り駅 ↓ いわき駅他 ↓ (いわき駅の場合) ●候補地1 松ヶ岡公園 ●候補地2 ラトブ、PaixPaix ●候補地3 いわき市立美術館 ●候補地4 いわき市石炭・化石館「ほるる」 ●候補地5 途中下車をして各駅の歴史や文化を学ぶ ↓ いわき駅他 ↓ 最寄り駅、解散	徒歩（15～20分） 磐越東線 徒歩（いわき駅から15分） 徒歩(いわき駅から徒歩10分) 常磐線乗り換え (湯本駅から徒歩10分)
------	--	--



Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

高齢者・一般向け
(個人補助)

事業名

●いま、ふたたびの磐越東線へ(大人の遠足)

対象・ターゲット

- 一般～高齢者
- 運転免許証自主返納者

目的



- 乗車経験のない、又はほぼ乗車したことのない一般の沿線住民や、高齢者、免許自主返納者などを対象に、乗車の機会を創出することで、不便で利用しにくいというイメージから、気軽に使えて、ガソリンより安く、車の運転より楽というイメージに変える。
- 楽しみながら外出や人との交流を促し、心身の健康や認知症予防につなげる
- 2次交通の利用促進にもつなげる

内容

- 〔一般向け〕
乗降自由な乗車券と駅周辺で利用できる商品券のセット商品の販売
- 〔各自治体の高齢者、運転免許証自主返納者への支援事業の対象者向け〕
各自治体の各種支援事業を拡充し、磐越東線限定の利用券交付を選択肢の一つに追加（例：郡山駅～いわき駅間10回分）
- 旅程で使える商品券、2次交通利用時のサービス券などを配付
- 2次交通乗り換え案内、沿線見所マップ、補助・助成の案内チラシなどを配付

Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

高齢者・一般向け
(個人補助)

期間	中期
開催方法	●〔一般向け〕 全沿線市町での共通利用 ●〔各自治体の高齢者、運転免許証自主返納者への支援事業の対象者向け〕 各自治体の支援事業等に導入
実施主体	●各自治体 ●協議会 ●JR東日本〔一般向け〕
調整・交渉先	●JR東日本
メリット	●〔一般向け〕 全沿線市町での波及効果が見込める ●〔各自治体の高齢者、運転免許証自主返納者への支援事業の対象者向け〕 各自治体で企画、実施可能 ●これまでの既存制度に組み込むまたは追加できる
デメリット・課題	●一般向けの共通利用券については、一括管理できる窓口や委託が必要か



Category 1

知ろう、乗ろう、磐東線

磐越東線の利用方法や沿線のこと、もっと知って、乗ってみよう。



子ども向け
+
2次交通利用
補助・助成



Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

子ども向け
(ツアー)

事業名

- 磐越東線沿線学校連携事業
- ゆうゆうあぶくまライン〔磐越東線〕に乗ってみよう！

対象・ターゲット

- 沿線自治体の居住者(中学校3年生まで)
- 沿線自治体の幼稚園、保育園、小学校、中学校等に通う児童
- 上記対象者の保護者等
- 沿線自治体以外の上記学校等に通う学生



目的

- 乗車経験のない、又はほぼ乗車したことのない子どもや学生などを対象に、乗車の機会を創出することで、乗り方を知り、磐越東線を身近な存在として認識させる
- 乗車体験をきっかけに、日常利用や進学、就業時の利用につなげる
- 2次交通の利用促進にもつなげる

内容

- 遠足、買い物、博物館や美術館見学、沿線地域学習(各駅の歴史や文化)
- 乗車中に見える絶景ポイントや見所、沿線市町の歴史などを解説
- 切符の買い方、改札の入りをサポート
- 希望者には、Suicaの買い方、入金方法もサポート
- 旅程で使える商品券、2次交通利用時のサービス券などを配付
- 2次交通乗り換え案内、沿線見所マップ、補助・助成の案内チラシなどを配付

Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

子ども向け
(ツアー)

期間	短期
開催方法	●各自治体又は複数市町で企画、募集(初年度は、実証実験) ○全県民(一般募集)
実施主体	●各自治体 ●協議会 ○JR東日本(一般募集の場合)
調整・交渉先	●JR東日本 ●鉄道マニア、ご当地アイドル、フラガールなどゲスト(マネジメント会社) ●郷土解説の専門家、案内人、補助員、必要に応じて保健師等 ●各学校等(募集に際して) ●各訪問先施設(商業施設、美術館等)
メリット	●各自治体で企画、実施可能 (集合・乗車場所、訪問施設も実情に合わせて選定でき、顔見知りや地元の仲間に参加しやすい)
デメリット・課題	●単発利用にならないよう、継続的な利用を促す必要がある ●安全面、健康面の確保 ●雨天時の対応

Category 1 知ろう、乗ろう、磐越東線

子ども向け
(団体利用)

事業名

- 磐越東線沿線学校連携事業
- ゆうゆうあぶくまライン〔磐越東線〕に乗ってみよう！

対象・ターゲット

- 沿線自治体の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、専修学校、特別支援学校(以下、学校等)に通う学生の団体
- 学校等附属または自治体が認める部活動や地域活動団体、児童クラブ等
- 沿線自治体以外の上記学校等及び専門学校、職業訓練校、大学に通う学生

目的

- 乗車経験のない、又はほぼ乗車したことのない子どもや学生などを対象に、乗車の機会を創出することで、乗り方を知り、磐越東線を身近な存在として認識させる
- 乗車体験をきっかけに、日常利用や地域活動、進学、就業時の利用につなげる
- 2次交通の利用促進にもつなげる

内容

- 校外学習、買い物学習、博物館や美術館見学、沿線地域学習(各駅の歴史や文化)、部活動の遠征等、団体旅行の際に磐越東線を利用する対象団体・学校等の長が、事前に助成金の申請を行う(例: 磐越東線乗車料の1/2など)
- 各自治体は、上限額内の団体数に対し、採択・通知する
- 事業終了後、学校・団体等の長の報告及び助成金請求依頼により、助成金を支払う
- 希望団体には、切符・Suicaの買い方、入金方法、改札の通り方をサポート
- 2次交通乗り換え案内、沿線見所マップ、補助・助成の案内チラシなどを配付



Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

子ども向け
(団体利用)

期間	中期
開催方法	●各自治体又は複数市町で企画、募集(初年度は、実証実験) ○全県民(一般募集)
実施主体	●各自治体 ●協議会 ○JR東日本(一般募集の場合)
調整・交渉先	●JR東日本 ●要望に応じて切符の買い方サポート補助員 ●各学校等(募集に際して)
メリット	●各自治体で企画、実施可能 ●各応募団体が企画・実施するため、催行に関する人員や費用は生じない ●部活動や地域活動等にまで対象範囲とすることで、今後、部活動の地域移行が進んだ際、指導員や家庭の負担減につながるため、需要は見込める可能性がある
デメリット・課題	●単発利用にならないよう、継続的な利用を促す必要がある ●上限額や補助率や対象事業について助成金制度を確立し、募集、採択、精算までを実施する人員確保の必要がある



Category 1

知ろう、乗ろう、磐東線

磐越東線の利用方法や沿線のこと、もっと知って、乗ってみよう。



石川町HP「第12回 水郡線児童絵画展入賞作品」より



伊豆箱根鉄道(株)「動く児童絵画展」(タウンニュース)

小学生向け

Category 1 知ろう、乗ろう、磐越東線

小学生向け

事業名	●磐越東線に乗って、描いて、夏休みの宿題しあげちゃおう！ 〔小学生の児童図画工作展の開催〕
対象・ターゲット	●沿線自治体の居住者(小学校6年生まで) ●沿線自治体の小学校に通う児童とその保護者(団体可) ●沿線自治体以外の小学校(全県、県外)に通う児童とその保護者(団体可)
目的	●乗車経験のない、又はほぼ乗車したことのない小学生を対象に、乗車の機会を創出することで、乗り方を知り、磐越東線を身近な存在として認識させる ●乗車体験、図画工作教室、絵画展への応募、展覧会観覧という一連の流れの中で、自然に磐越東線に興味を持ち、親子で乗車するきっかけとする ●乗車体験をきっかけに、日常利用や進学、就業時の利用につなげる ●沿線自治体以外も対象に含めることで、県内外への磐越東線のPRにつなげる
内容	●県内外の小学生を対象に、夏休みの図画工作課題(選択)に採用される公募展とする。 ●タイアップ企画として、夏休みの特定の1～2日間、乗車体験＋絵画講習会(画用紙や画材を会場に用意、手ぶらでOK。親子参加可。画家や図工教員を講師として指導)を実施。(任意参加) ●審査員に鉄道マニアやご当地アイドル、フラガール等を入れてユニークな賞を設ける。 ●絵画展を大規模駅内(郡山駅、いわき駅等)で実施、優秀作品を磐越東線車内で展示。展示を見に来る際にも、再び磐越東線を利用してもらう機会を創出。



Category 1 知ろう、乗ろう、磐東線

小学生向け

期間	短期
開催方法	●県内外(一般募集)
実施主体	●各自治体 ●協議会 ●JR東日本 ●各教育委員会
調整・交渉先	●JR東日本(車内、構内展示の交渉も含む) ●鉄道マニア、ご当地アイドル、フラガールなど審査員(マネジメント会社) ●図画工作の教員や専門家 ●郷土解説の専門家、案内人、補助員、必要に応じて保健師等 ●各教育委員会、県教育庁 ●図画工作教室を実施する会場の市町
メリット	●確実に需要が見込める(電車が好きな小学生が対象、残りがちな図画工作の宿題のサポートつきで親子で参加できる) ●沿線市町以外にも県内外へのPRの機会となる
デメリット・課題	●どこから乗せて、どこで集合し、どこで図画工作指導を実施するか。(現地集合とすると乗車効果が薄れる可能性あり) 受け入れ施設との調整が必要。 ●途中乗降の親子をどう拾うかの管理など、各市町職員等の協力も必須。



Category 2

磐東線利用促進キャンペーン

マイカー通勤の人も、飲み会の時も、たまには磐東線に乗ってみよう。

通勤・通学
飲み会向け
(その他利用全般)

ダイヤの変更

Category 2

磐東線利用促進キャンペーン

マイカー通勤の人も、飲み会の時も、たまには磐東線に乗ってみよう。

通勤・通学
飲み会向け
(その他利用全般)



宮崎県「県内一斉ノーマイカーデー」ポスター

Category 2 磐東線利用促進キャンペーン

通勤・通学
飲み会向け
(その他利用全般)



事業名(仮)

- 1 通勤向け→「たまにはゆったり通勤だ」
- 2 飲み会向け→ 飲み会応援電車で帰ろう月間
- 3 その他利用全般向け→ 磐東線利用促進キャンペーン

対象・ターゲット

- 1、2 沿線地域の普段、車通勤の方(2は成人のみ)
※WGメンバーで沿線沿いマイカー通勤者がいたらその人も参加してもらいたい
- 3 その他、買い物、通院などの日常利用者やこれまであまり利用したことのない県民等

目的

- 1, 2, 3 共通
 - ・キャンペーン中に東線利用者が良さ(経済的にも環境的にもエコであることや、通勤時間帯の有効活用、お酒を呑んで帰れる等)を実感してもらい、通常利用のない乗客を確保する。
 - ・沿線市町がタイアップし、磐越東線の危機と魅力を発信し、機運を高め、存続の意志を県や国にPRする。

実施に必要な期間

短期～中期的

Category 2 磐東線利用促進キャンペーン

通勤・通学
飲み会向け
(その他利用全般)

内容

1, 2共通

- ①JRとの調整: 定期券、出張用ICカード整備
- ②調整後の周知(自治体とJR→一般、自治体、企業)

PR内容:

- ・自分で運転する必要がないため、通勤の時間を有効に活用(読書、動画、音楽など)できる
- ・エコ(環境面、経済面)の分析結果周知

PR手法:

- ・沿線市町が連携してポスター、チラシ、啓発グッズ、動画を使用し、WG所属自治体が、実際に各駅や企業、学校、施設等で啓発活動を実施。
- ・県政、市政広報枠(テレビ、ラジオ、HP等)を駆使して一斉に広報
- ・ICカード利用による公共交通機関利用依頼

2 単独 飲み会の多くなる12月の金・土曜日限定で終電前の時刻二本を遅らせ、利用促進を狙う。

例: 21:54郡山発いわき行→22:47発へ、22:47郡山発いわき行→23:30発へ

忘年会新年会の多い12~1月、ビアガーデンが賑わう夏休みの7~8月、歓送迎会のある3~4月などが候補。



Category 2 磐東線利用促進キャンペーン

通勤・通学
飲み会向け
(その他利用全般)

期間	短期
実施主体	1, 2共通 沿線自治体、企業、団体、JR、WG
調整・交渉先	1, 2共通 沿線自治体、企業、団体、JR
メリット	1 利用者:自分で運転する必要がないため、通勤の時間を有効に活用(読書、動画、音楽など)できる 1 企業:SDGsの観点から取り組むことでイメージアップ 2 利用者と飲み会店舗(中小企業)にとって飲酒運転0に繋がる
デメリット・課題	1 利用者:促進月間後に定着するか不明。 2 ①十分な周知をしなければ、多大な苦情につながる恐れ。 ②通常でも金・土曜日の夜は利用者が多いため、大混雑する恐れ。 ③時間を遅らせることによりJR乗務員の人件費がかかる。

Category 2

磐東線利用促進キャンペーン

マイカー通勤の人も、飲み会の時も、たまには磐東線に乗ってみよう。



ダイヤの変更



ことでん(高松琴平電気鉄道) 終電「51分繰り下げます」異例の大幅ダイヤ改正(乗り物ニュース)

Category 2 磐東線利用促進キャンペーン

ダイヤの変更

事業名(仮)	ダイヤの変更
目的	利用状況にあわせた車両編成やダイヤに変更
内容	移動ニーズ調査情報をJRに照会し、ダイヤ変更ニーズが沿線住民全体として意見があるのか確認。 その上で、 ①利用状況にあわせた車両編成 ②朝と夕方の通勤通学時間帯、週末夕方から夜間の増便 ③二次交通事業者との接続が適切であるかの調査
期間	長期



ことでん、全線終電繰り下げ・長尾線は一部終日ワンマン化
3月18日ダイヤ改正(レイルラボ)

Category 2 磐東線利用促進キャンペーン

ダイヤの変更

実施主体	●JR、二次交通事業者、WG
調整・交渉先	●JR、二次交通事業者
メリット	●利用者:通勤通学通院等の利便性向上
デメリット・課題	●JRの経費が未知数

Category 3

磐東線が運びます、貨客混載

いわきの海産物も海から直行、新鮮な農水産物を沿線に届けたい。



ひたちなか海浜鉄道湊線那珂湊駅ホーム
で開かれた「地元野菜の直売会」（水戸経済新聞）



JR西船橋駅構内で「新鮮野菜直売会」
乗り換え客に地元野菜をPR（My Funa. net）

Category 3 磐東線が運びます、貨客混載

事業名	●「エキイチバ」の開催
対象・ターゲット	●駅利用者及び駅周辺の居住者 ●磐越東線沿線自治体住民
目的	●駅そのものの認知度向上(駅に「来てもらう」ための仕組みとして活用) ●周辺住民に駅を拠点とした地域活性化
内容	●磐越東線の各駅に販売スペースを設け、定期的に野菜・海産物等の移動販売会＝通称「エキイチバ」を開催する。 ●郡山といわきを繋ぐ沿線という利点を活用し、エキイチバならではの品物(例えば、その日のいわきの漁港で水揚げされた新鮮な海産物を小野駅・船引駅・三春駅で販売する等)を販売し、地元商店等との差別化、プレミアム感を押し出す。 ●開催駅に磐越東線を利用して来た客には割引券を配布する等の対応を検討する。
期間	中～長期
開催方法	●数か月に1回実施するペースで開催し、開催駅は毎回違う駅とする。 ●沿線自治体で運営員会を立ち上げ、出店企業の申込、開催場所等のJR側との調整を一括して実施する。 ●出店者は、原則として磐越東線を利用し開催駅に向かうこととする。



Category 3 磐東線が運びます、貨客混載

実施主体

- 各自治体
- 協議会
- JR東日本

調整・交渉先

- JR東日本
- 販売事業者等

メリット

- 開催に併せて、磐越東線の周知、沿線自治体の特産品のアピール等、さまざまな相乗効果が期待できる
- JR東日本との販売箇所が確保できれば、比較的安価な費用で実施可能

デメリット・課題

- 単発開催にならないよう、事務局の運営方法を検討する必要がある
- 販売事業者の募集方法



JR西船橋駅構内で「新鮮野菜直売会」

Category 4

移動ニーズ調査・医療連携

利用者のニーズを把握して、地域医療を支える路線へ。



発売日・利用日 平日 ※お帰りのみ 土曜・祝日も利用可 有効期間 2日間

対象者(年齢制限なし) 岩手町・一戸町・二戸市の各駅から盛岡方面へ通院される方 およびその介助者の方1名

ご本人のみ……1人用 / ご本人+介助者付添い……2人用

利用方法

乗車前 あんしん通院きっぷをお買い求めください。
通院される病院の診察券、予約券または同等の証明書(初診の場合に限り保険証)をご提示ください。
※駅窓口では使用当日の発車前のみ発売します。

行き IGR地域医療ライン指定列車にご乗車
①②いずれかの列車へご乗車ください。

発売箇所 金田一温泉～岩手川口の各駅
※斗米駅・小繋駅からご乗車の場合は列車内でアテンダントから購入できます。

① (7:13発) ▶ 7:43発 ▶ 7:48発 ▶ 7:51発 ▶ 7:57発 ▶ 8:01発 ▶ 8:08発 ▶ 8:15発 ▶ 8:22発 ▶ 8:26発 ▶ 8:31発 ▶ 9:00発

② 8:49発 ▶ 8:55発 ▶ 8:59発 ▶ 9:06発 ▶ 9:13発 ▶ 9:19発 ▶ 9:24発 ▶ 9:29発 ▶ 9:58発

盛岡 岩手川口 いわて沼宮内 御堂 奥中山高原 小繋 小鳥谷 一戸 二戸 斗米 金田一温泉 八戸

いわて銀河鉄道株式会社「あんしん通院きっぷ」



貴志川線の利用促進へ15年ぶりに乗降調査(わかやま新報)

Category 4 移動ニーズ調査・医療連携

事業名	●「あなたはどこに行きますか？～磐越東線乗降調査～」 ◎BEL地域医療ライン〔 B: BANETSU(磐越)、E: EAST(東)、L: LINE(線) 〕	
対象・ターゲット	●磐越東線利用者 ◎総合病院等へ通院が必要な高齢者等	
目的	●磐越東線利用者の乗降人数、行先等について利用者のニーズを把握することで、BEL地域医療ラインのサービス提供へと繋げる。 ◎ボランティアアテンダントを列車に添乗させ、高齢者等が不安なく駅ホーム⇔デマンド交通⇔病院間を一人きりにしない。	
内容	●業者への委託調査やカメラを設置した乗降調査。 ◎通院が必要な高齢者等に対し、一人では不安な方(体調面やさみしさから)には、付き添いとしてボランティアアテンダント(ボランティア団体やシルバー人材等との連携)の方の同乗を可能とすることで、家族の付き添いがなくとも安心して通院ができるサービス。 (IGRいわて銀河鉄道株式会社の事例・・・ https://igr.jp/ticket/medical/)	
期間	中～長期	
実施主体	●◎各自治体 ●◎協議会	





Category 4 移動ニーズ調査・医療連携

BEL地域医療ライン 例)夏井駅利用の高齢者が、公立小野町地方総合病院へ通院する際に使用するイメージ

○ボランティアアテンダントの付き添いにて通院(最寄り駅⇔病院)

- ①夏井駅にてボランティアアテンダントと合流。夏井駅から小野駅へ移動。
ボランティアアテンダントとは一緒に夏井駅⇔小野駅⇔病院を移動します。
- ②小野駅からデマンド交通などの2次交通を利用し、ボランティアアテンダントと
公立小野町地方総合病院へ直通で移動。
※ 2次交通には医療機関独自の送迎バスなども含む。
- ③診察終了後、ボランティアアテンダントと2次交通を利用し小野駅まで移動。
- ④小野駅から電車で夏井駅まで移動。ボランティアアテンダントと解散し、帰宅。

医療連携と記載しておりますが、通院だけでなく、買い物支援・お出かけ支援など、主に高齢者の移動を支援する事も可能として考えています。

Category 4 移動ニーズ調査・医療連携

調整・交渉先

- ◎JR東日本
- ◎病院

メリット

- ニーズを調査することで、今後イベントなどの連携を図ることができる。
また、将来的な駅の統廃合などを検討するデータとなる。
- ◎高齢者が増える中で通院する方をターゲットとし、家族の付き添いが必要な方や、タクシーで病院まで行かなければならない方等を救済することができる。

デメリット・課題

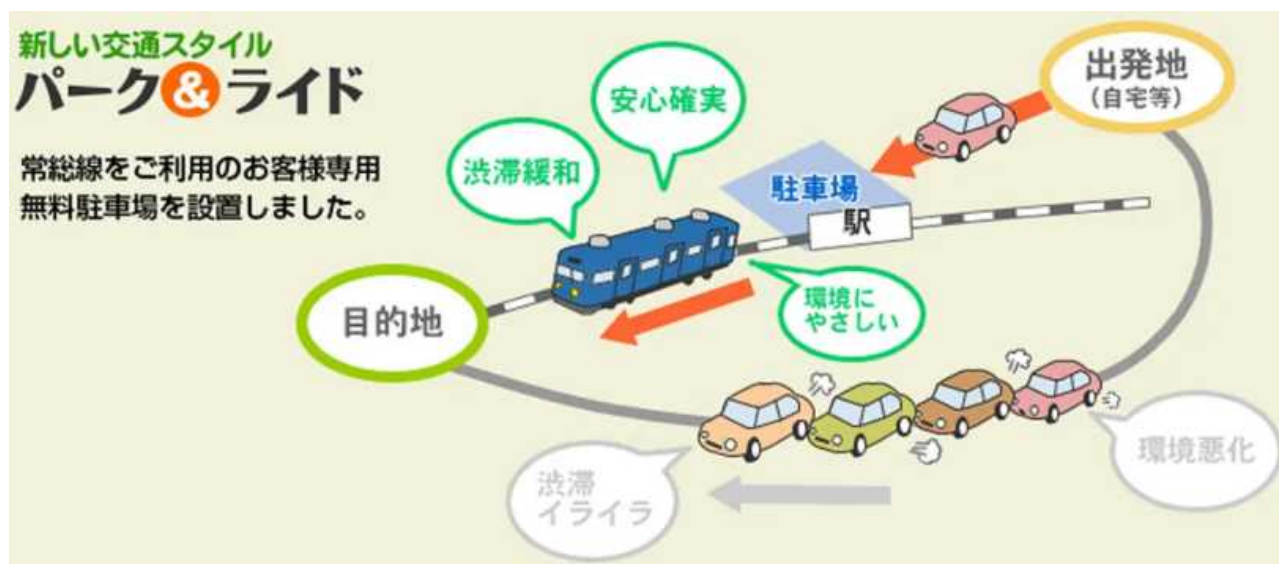
- コストと時間を要する。
- ◎需要は見込めるが、自治体負担(ランニングコスト)が課題。



Category 5

2次交通・P&R・人材育成

磐東線を支える2次交通やパークアンドライド、アゲント・ボランティアを育てよう。



関東鉄道（株）HP「常総線パーク&ライド」より



JR大阪駅周辺で迷った人を案内するボランティア（読売新聞）

Category 5 二次交通・パークアンドライド、アテンダント、ボランティア(育成)

パークアンドライドとは

自宅から自家用車・軽車両で最寄りの駅まで行き、
駐車・駐輪させた後、鉄道などの公共交通機関を
利用して、目的地に向かうシステム



事業名

- 駅周辺二次交通整備事業
- パークアンドライド整備事業

対象・ターゲット

- 駅まで、駅からの交通手段がなく鉄道利用を避けている方
(通勤で日常的に車を利用している人、免許返納した高齢者など)

目的

- 磐越東線がなかなか利用されない1つの原因として、列車乗車前後の移動手段の確保が難しいという現状があるため、**駅周辺の移動手段環境を整備**して、磐越東線が利用しやすい環境整備を進める。

内容

- 既存の二次交通(バスや他の鉄道路線)を磐越東線とのアクセスが良くなるよう交通事業者等への要望や利便増進方策の実施を進める。
- 二次交通が整っていない駅周辺の二次交通を整備を行う。
(デマンドタクシーやコミュニティバスなど)
- 駅周辺の**駐車場、駐輪場の確保**を進める

Category 5 二次交通・パークアンドライド、アテンダント、ボランティア(育成)

実施主体	●各自治体 ●協議会
調整・交渉先	●交通事業者 ○駅周辺の土地所有者(パークアンドライドを新たに整備する場合)
メリット	●既存のものがあればそれを活用し、利用しやすいように整備することで環境を整えることができる。 ●駅周辺の活性化にもつながる可能性がある。
デメリット・課題	●新たに整備する必要がある場合は、多くの予算と時間が必要となる。

Category 5 二次交通・パークアンドライド、アテンダント、ボランティア(育成)



アテンダントの業務の様子
(IGRいわて銀河鉄道株式会社)



ボランティア駅長の例（北条鉄道）



「只見線にみんなで手をふろう条例」の例

事業名

- ボランティアアテンダントの添乗事業
- ボランティア駅長の配置事業
- ご当地かかしで出迎えよう
- 沿線住民で列車に手を振り出迎えよう

対象・ターゲット

- 沿線住民

目的

- ボランティアアテンダントを列車に添乗させ、高齢者などが不安なく列車に乗車できる環境を整える。
- ボランティア駅長を配置することで駅の活性化や話題作りを行うことができる。
- ご当地かかしや沿線住民が手を振り出迎えることで利用者に楽しんでもらえるほか、沿線住民のマイレール意識の醸成につながる。

Category 5 二次交通・パークアンドライド、アテンダント、ボランティア(育成)

内容	●ボランティアアテンダントを募集し、列車に添乗させ、車内で膝掛けなどの用意、二次交通の案内など利用者とコミュニケーションを取り、利用者に安心して列車を利用してもらえるようにする。 (IGRいわて銀河鉄道株式会社の事例・・・https://igr.jp/ticket/medical/) ○ボランティア駅長を配置し、地域とのコミュニケーションやイベント企画などを行い、駅の活性化につなげる。 ●沿線の田畑にオリジナルのかかしを立て、利用者を出迎える。また、オリジナルかかしのコンテストを行い、表彰するといったイベントにも繋げ話題を作る。 ○沿線住民が列車が通り過ぎるとき、列車に向け手を振り利用者を出迎える。
実施主体	●各自治体 ●協議会
調整・交渉先	●JR東日本 ●沿線住民
メリット	●磐越東線に興味を持ってもらえる話題を創出する ●アテンダントを配置することで乗車方法や2次交通などがわかりにくい磐越東線を安心した利用してもらうことができる。 ●沿線住民マイルール意識の醸成に繋がる
デメリット・課題	●配置するアテンダントやボランティア駅長に報償費を払う場合はその分の予算が必要となる。

磐越東線利用促進WG 日常チームのまとめ

子どもから大人まで、
磐越東線のことを知り、
乗車の機会をつくる。

- 高齢者向けツアー
- 幼児～中学生向けツアー
- 小学生向け図画工作展
- 通勤・通学向け利用促進CP
- 飲み会向け利用促進CP

磐越東線をより便利に。

- 高齢者・一般向け助成制度
- 幼稚園～高等学校等、校外学習、部活動など団体向け助成制度

磐越東線の新たな活用。

- 貨客混載
(いわき～郡山で農水産物を運搬)
- エキイチバの開催
- 医療連携
- 買い物・お出かけ支援
- 移動ニーズ調査

磐越東線を支える
環境を整備。

- 既存2次交通とのアクセス整備
- デマンドタクシーやコミュニティバスなどの整備
- パークアンドライド（駐車場、駐輪場）の整備
- ボランティアアテンダントや駅長の配置、人材育成

「不便」から「楽」への意識転換
マイルール意識・愛着の醸成

継続的な日常利用へ

ご静聴、ありがとうございました。



JR夏井駅(小野町)付近

磐越東線活性化ワーキンググループ
日常チームの提案

磐越東線を日常に。

BANETSU EAST LINE will always be by your side.